

平成 28 年度

事業報告書

平成28年 4 月 1日から

平成29年 3 月31日まで

公益財団法人 科学技術広報財団

平成28年度事業報告

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下「財団」という）は、広く社会に対する科学技術の広報啓発と科学技術振興への寄与という使命及び社会的意義を認識し、その目的を達すべく中長期的な視野で事業を展開している。

平成28年度事業は、定款に基づき科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進、科学技術に関する情報発信、科学知識普及、人材育成、広範な科学技術に関心と理解を深める広報活動に関する事業等を実施した。

平成28年度に実施した事業は以下の通りである。

I. 全体運営

(1) 理事会の開催

- ・平成28年6月10日（金） 第11回理事会
 - ① 平成27年度事業報告書及び平成27年度決算報告書を承認した。
 - ② 第5回評議員会の招集について承認した。
 - ③ 理事長及び常務理事より職務執行状況を報告した。
- ・平成28年6月27日（月） 第12回理事会
 - ① 沖村理事を理事長に、広瀬理事を専務理事に、中村理事を常務理事にそれぞれ選任し、これを承認した。
 - ② 中村常務理事を事務局長に選任し、これを承認した。
- ・平成29年3月10日（金） 第13回理事会
 - ① 平成29年度事業計画書及び平成29年度収支予算書を承認した。
 - ② 理事長、専務理事及び常務理事より職務執行状況を報告した。
 - ③ 担当理事より各科学館の運営状況等を報告した。

(2) 評議員会の開催

- ・平成28年6月27日（月） 第5回評議員会
 - ① 議事録署名人を選出した。
 - ② 平成27年度事業報告書及び平成27年度決算報告書を承認した。
 - ③ 評議員5名の退任・3名の選任を承認した。
 - ④ 理事1名の選任を承認した。

(3) 役員・評議員及び職員の状況

① 役員の現状（平成29年3月31日現在）

役職	定数（人）	現員（人）
理事長	1人	1人

専務理事	1人	1人
常務理事	2人以内	1人
理事	5人以上12人以内	12人（非常勤8人・常勤4人） うち理事長1名、専務理事1名、 常務理事1名
監事	3人以内	2人

②評議員の現状（平成29年3月31日現在）

定数	現員（人）
5人以上12人以内	9人

③職員の現状（平成29年3月31日現在）

区分	職員数（人）
本部事務局	5人
新潟県立自然科学館	12人
神戸市立青少年科学館	5人
計	22人

④役員の異動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
		平成 28 年 6 月 27 日	中村 英俊

⑤評議員の異動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
平成 28 年 6 月 27 日	麻生 健治	平成 28 年 6 月 27 日	小岩井 忠道
平成 28 年 6 月 27 日	小原 満穂	平成 28 年 6 月 27 日	齊藤 仁志
平成 28 年 6 月 27 日	木阪 崇司	平成 28 年 6 月 27 日	田中 敏
平成 28 年 6 月 27 日	木村 茂行		
平成 28 年 6 月 27 日	鳥井 弘之		
平成 29 年 3 月 31 日	川端 和明		

(4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページ及びWEBを通じた財団広報活動の活性化を図った。

(5) その他

II. 事業

1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

(1) 科学ポスターの企画・作成及び提供

最新の科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として、科学ポスター「海から始まる動物の進化」を東京書籍(株)の協力のもと制作し頒布を開始した。

また、東京大学早野教授総合監修、大日本図書(株)協力のもと科学ポスター「単位」を制作し頒布の受付を開始した。

事業の発展を図るため、Amazonへの出店を継続するとともにYahoo!shoppingへの出店準備を進めた。また、書店、科学館及び大学生協などの販売機関に対し、最新の商品情報(パンフレット)の提供を行うとともに教材カタログに掲載するなど販売の拡大に努めた。

① 売上件数 : 3,812件

② 売上総枚数 : 42,000枚(出荷数:128,000枚)

③ 取扱店舗数 : 科学館・博物館等ミュージアムショップ : 25店舗、書店 : 10店舗、大学生協 : 19店舗、WEB:4店舗

計58店舗 (平成29年3月31日現在)

(2) 科学グッズの企画・開発及び提供

科学ポスター「単位」の販売促進用としてクリアホルダーを制作し頒布の受付を開始した。

理化学研究所が創立百周年及び113番元素の発見を記念して製作したグッズ(手ぬぐいなど)の販売を開始した。

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

2-1. 科学館の運営及び運営支援

(1) 新潟県立自然科学館の指定管理者(民間事業者との共同事業で期間は平成27年4月から平成32年3月まで5年間)として、管理運営業務及び科学教育普及事業を実施した。

平成28年度来館者実績 : 235,989人

- (2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業で期間は平成26年4月1日～平成30年3月31日の4年間）として、一部展示の更新、特別展、実験教室の開催ほかを実施した。

平成28年度来館者実績：399,263人

- (3) ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館の指定管理者公募に応募し、指定管理者（公益財団法人との共同事業で期間は平成29年4月1日～平成34年3月31日の5年間）に選定された。その後基本協定書等の締結に向けて、必要な準備を進めた。

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

(1) 展示コンテンツの開発

- ① 神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組企画として「みえない光？宇宙を知る冒険」を制作し、神戸市青少年科学館、新潟県立自然科学館での上映を実施した。
- ② 神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組企画として「星の恋人～ほしこい君と夜空の記憶～」を制作し、神戸市立青少年科学館での上映を開始した。

(2) 展示・映像コンテンツの提供

- ① 公益財団法人日本財団の平成27年度助成事業で制作した映像企画「クジラが星に還る海～STARS OF LIFE～」が以下の科学館・プラネタリウムにて上映された。また本作は平成28年度キッズデザイン賞（特定非営利活動法人キッズデザイン協議会）を受賞した。

神戸市立青少年科学館

新潟県立自然科学館

足立区ギャラクシティ

さぬきこどもの国

ベネッセスタードーム

3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

(1) 科学技術関連団体の広報活動支援

日本科学オリンピック推進委員会が開催する各種国際科学オリンピックのうち、情報及び地学の日本委員会事務局への支援業務を継続して実施した。

地学オリンピックでは、平成28年8月に国際大会が三重県で実施され、事務局運営の支援を行った。

(2) 団体・企業の広報活動支援（収益事業）

団体・企業からの依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報活動への支援を実施した。

以上